2023年9月20日
WeSupport Family視察報告会

WeSupport Family

Oisix ra daichi RCF ココネット

■実施概要

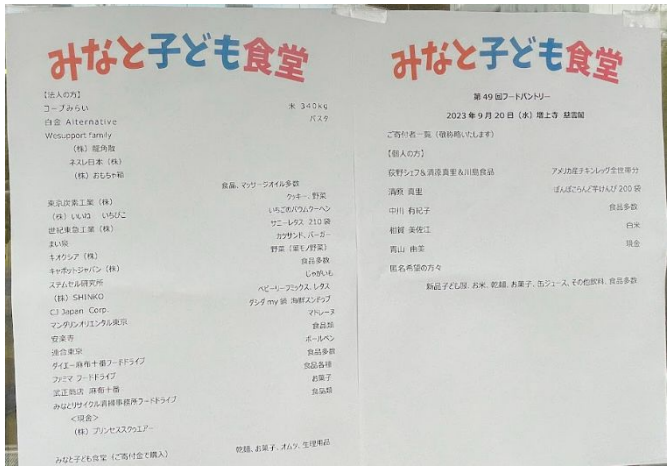
みなと子ども食堂の開催場所である増上寺にて

WeSupport Family視察報告会を実施しました。

支援団体（フードバンク・フードパントリー）、サポート企業、こども家庭庁、事務局

総勢50名が参加し、ひとり親世帯に寄り添う支援団体のお話に

参加者一同が想いを深める会となりました。



みなと子ども食堂

【法人の方】

コープみらい　米 340kg

白金 Alternative　パスタ

WeSupport family

（株）龍角散

ネスレ日本（株）

（株）おもちゃ箱

東京皮革工業（株）　食品、マッサージオイル多数

（株）いしいし　いちりと　クッキー、野菜

世紀東急工業（株）　いちごのパウンドケーキ

まい泉　サニーレタス 210 袋

キオクシア（株）　コロッケ、バーガー

キッコーマンジャパン（株）　野菜（菜モ/野菜）

ステムセル研究所　食品多数

（株）SHINKO　じゃがいも

CJ Japan Corp.　ベビーリーフミックス、レタス

マンダリンオリエンタル東京　テンダ my 鍋 海鮮スンドゥブ

増上寺　マドレーヌ

浦合東京　食品類

ダイエー麻布十番フードドライブ　ボールペン

ファミマ フードドライブ　食品多数

武正商店 麻布十番　食品各種

みなとリサイクル清掃事務所フードドライブ　お菓子

<団体>　食品類

（株）プリンセススクエア

みなと子ども食堂へご寄付金と購入）　乾麺、お菓子、オムツ、生理用品

みなと子ども食堂

第 49 回フードパントリー

2023 年 9 月 20 日（水）増上寺 慈雲閣

ご寄付者一覧（敬称略いたします）

【個人の方】

仮野シェフ&清原真里&川島食品　アメリカ産チキンレッグ全世帯分

清原 真里　ばんばごらんど芋けんぴ 200 袋

中川 有紀子　食品多数

相賀 美佐江　白米

青山 由美　現金

匿名希望の方々

物品子ども服、お米、乾麺、お菓子、缶ジュース、その他飲料、食品多数

■実施概要

■開催日　:2023年9月20日（水）14:00～17:00

■目的　　:現場体験により支援団体・サポート企業の相互理解を深める

■プログラム:
《第一部》

1. WeSupport Family活動概要説明
2. フードバンク・フードパントリーの現状と課題報告
   （みなと子ども食堂/埼玉フードパントリーネットワーク/立川みらい/東京こども応援団）
3. 食品支援報告（まい泉/デルタインターナショナル）
4. 官民連携プロジェクト「こどもの未来応援国民運動」に関する説明（こども家庭庁）

《第二部》 みなと子ども食堂フードパントリー視察

■支援団体　みなと子ども食堂

港区においても就学援助認定（貧困指標）は公立小学校（約16%）、公立中学校（約31%）と数値は決して低くありません。

2016年1月に設立されたみなと子ども食堂はフードパントリー、子ども食堂だけでなく、学習支援やイベントなど多岐に渡る活動を行っています。

これまでは子どもたちに栄養バランスのとれた食事提供や居場所作りに重きを置いていましたが、

最近は**「経済格差＝教育格差＝体験格差」**の課題に立ち向かう新たな役割があると感じています。

子どもたちだけではなく、その眼はシングルマザーにも向けられ、弁護士による法律相談もスタートしました。

みなと子ども食堂

理事長・弁護士　福崎　聖子様

当日投影資料（抜粋）

新しい子ども食堂の活動

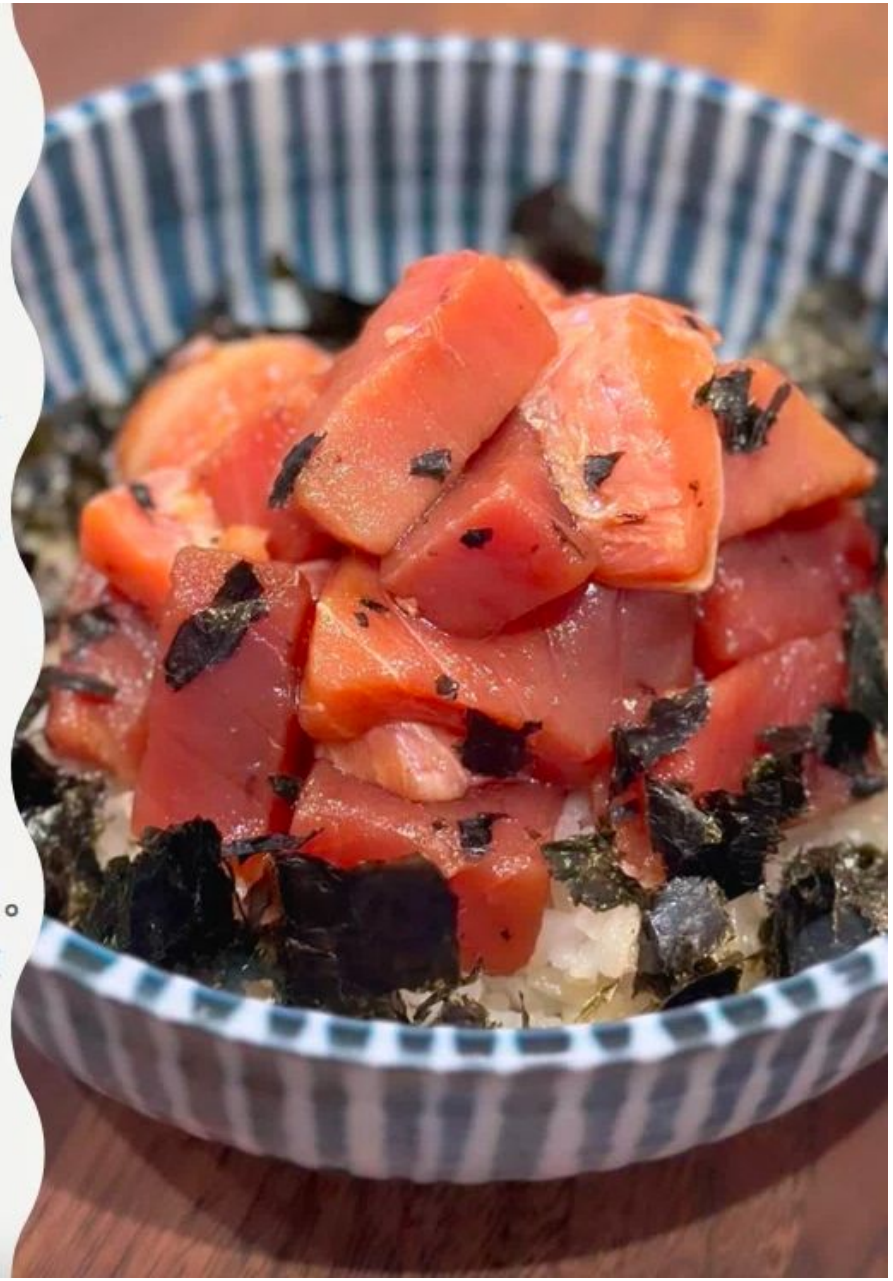
●個々のご家庭のお悩みに対応すべく、また必要に応じて行政機関へのパイプとなるべく弁護士による法律相談を開始（2023年9月～）

●特に、資力のないシングルマザーのために、国の司法支援センター（通称「法テラス」）の指定相談場所になったため費用は立て替え。

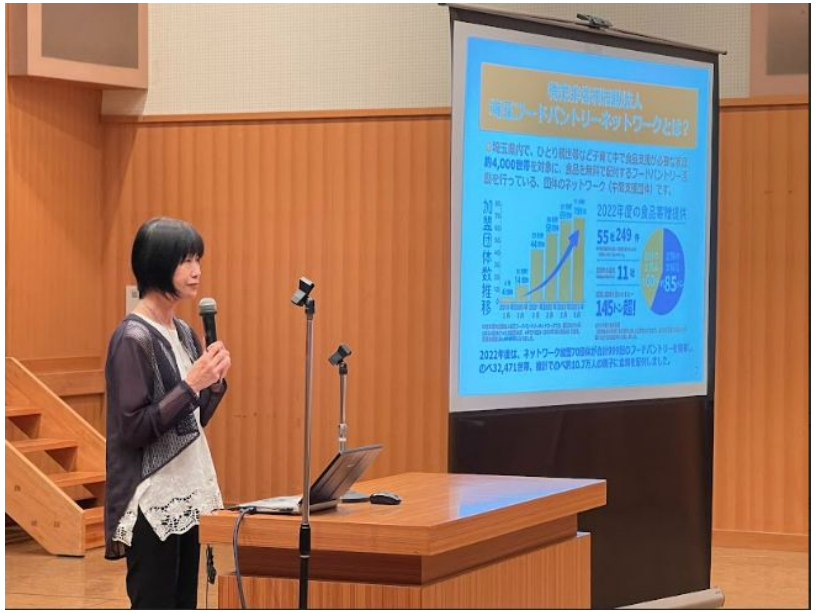
●体験格差を解消し職業訓練的な意味合いも込め、10月22日には、マグロ仲買の㈱フジタ水産様のご寄付で、マグロについての食育＋「本物のマグロ」を食べる200食のマグロ丼食堂を開催予定。

●今後、新しく出来る区の施設で子ども食堂も小規模ながら再開予定。

●体験格差を解消すべく、様々な企画、コンサート、観劇などの体験企画を開催していくと共に、更なる学習支援活動の拡大。



■支援団体　埼玉フードパントリーネットワーク



埼玉フードパントリーネットワークは埼玉県内で、
ひとり親世帯など子育て中で食品支援が必要な家庭**約4,000世帯を対象**に、食品を無料で配付するフードパントリー活動を行っている団体のネットワーク（中間支援団体）です。
創立年の2019年は4団体でしたが、**2023年5月には75団体**まで拡大しています。コロナ渦や物価高が深刻な状況を生んでいます。
食品は元より子ども靴や冷凍食品の配布など支援の幅を広げています。

埼玉フードパントリーネットワーク
理事長　草場　澄江様

子育て応援フードパントリーとは？

●ひとり親世帯など「子育て中で食品支援が必要な家庭」を主な対象としたフードパントリーです。

母子世帯の平均年収は
236万円

父子世帯の平均年収は
496万円

一般世帯の平均年収は
564.3万円

※2020年の平均年収。

生活保護を受けていない貧困世帯

生活保護世帯

この層を主な対象としています。

日本の子どもの貧困率

13.9%（7人に1人）

30人クラスで約4人が貧困。

ひとり親世帯の貧困率は

50.8%

2人に1人の子どもが貧困に苦しんでいます。

■支援団体　立川みらい

立川みらいは1959年から立川市で

母子家庭の当事者同士の助け合いから始まった会で

「子どもたちのみらい・親たちのみらいが、笑顔あふれるものにしたい！」と願いながら活動をしています。

その支援（実現）に向けて、

食糧支援の他、メンタルケア、イベント開催、学習支援など

多岐に渡る活動を行っています。

みらい塾

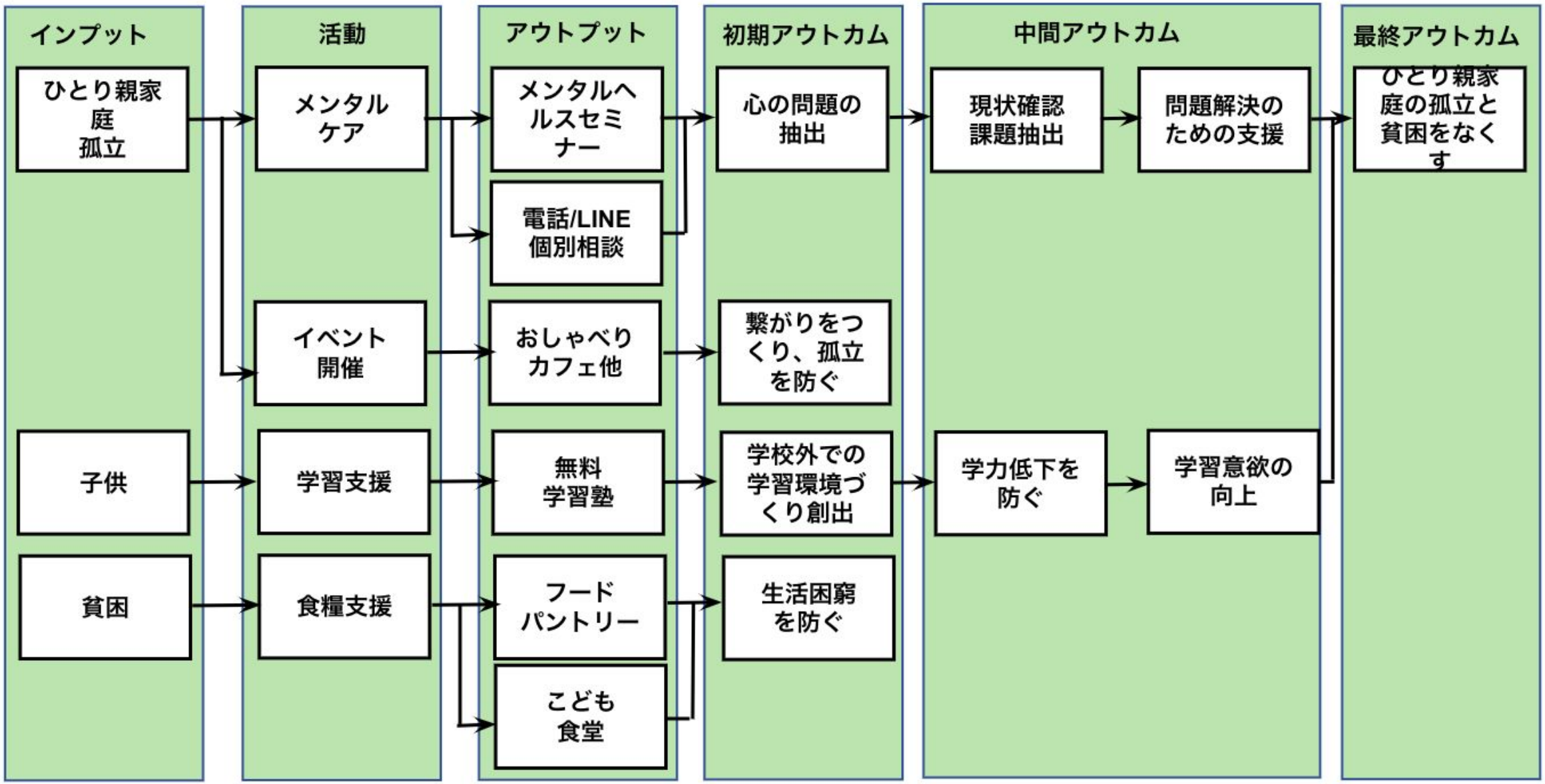
毎週土曜18:00～20:00

小学3年～高校3年対象

立川みらい様

当日投影資料（抜粋）

立川みらい　ひとり親支援事業におけるロジックモデル



■サポート企業　井筒まい泉

まい泉では子ども食堂に、
カット端肉を用いた「まい泉SDGsカレー」やサンド、バーガーを
提供し、社会貢献活動として毎月社内報告をしています。
2023年8月、青山本店レストランに「**まい泉こどもプロジェクト募金箱**」を設置しました。
本社がある渋谷区の社会福祉協議会「子ども基金」や
WeSupport Familyの活動に役立てています。

井筒まい泉　広報グループ
西山　由香様

■サポート企業　デルタインターナショナル

デルタインターナショナルは、ナッツ・ドライフルーツの専門商社としてMVV（ミッション・ビジョン・バリュー）を大切に活動を行っています。地域や社会とのつながりとしてWeSupport Family活動に
2022年から参画しています。
ナッツ・ドライフルーツの**栄養価の観点からも**
子どもたちの食育支援に役立てればと考えています。
また、みなと子ども食堂様への**社員ボランティア**を通して、
ひとり親家庭支援をより深く学ぶ姿勢で取り組んでいます。

デルタインターナショナル
藤井　エリカ様

DELTA International Co., Ltd.

「縁を大切に、共に成長し、喜びをサイクルさせていく」

DELTA International Co., Ltd.

Mission/Vision/Value

MISSION

我々の使命

大地の恵みで
人の「みらい」を創る

VISION

我々の目指す姿

縁（えん）を大切に、共に成長し、
喜びをサイクルさせていく

おいしさと、安心と、遊び心で
毎日の暮らしをデザインする

VALUE

我々の価値

KEEP ON CHALLENGING
自由な発想、柔軟な対応、諦めない精神

GET TO KNOW EACH OTHER
個性とチームワークの共存

HIGH QUALITY ORIENTED
大切な人に食べてもらいたいデルタクオリティ

■こども家庭庁

こども家庭庁からは、こどもの相対的貧困率の変遷と共に
貧困対策に向けた官民連携プロジェクト
「**こどもの未来応援国民運動**」（こどもの未来応援基金、マッチング事業）の説明がありました。

▼詳細はこちら

こどもの未来応援国民運動

こども家庭庁支援局家庭福祉課　企画調整官
胡内　敦司様

こどもまんなか
こども家庭庁

当日投影資料（抜粋）

こどもの未来応援基金（未来応援ネットワーク事業）

「こどもの未来応援基金」を通じて、草の根で支援活動を行うNPO法人等の運営基盤の強化・掘り起こしを行い、社会全体でこどもの貧困対策を進める環境を整備することを目的に、NPO法人等への支援金の交付を行う。

企業や個人

寄付金 →

← ①事業報告

← ②税制優遇

こどもの未来応援基金

«国民運動推進事務局»

※事務局の運営費用に基金は使用しない

こども家庭庁・文科省

福祉医療機構と相互に協力し、PR活動や使途等に関する案作成等

福祉医療機構

こどもの未来応援基金を他の財産と分別して管理

基金事業審査委員会

基金の使途等を審査し、審査状況を公表することで、透明性・公平性を確保する

支援金 →

← NPO等が公募に申請

未来応援ネットワーク事業

草の根で支援を行うNPO等の体制を強化・育成し、支援の量的・質的な拡充を図る。

のべ支援決定団体数：５８２団体

※令和４年度支援までの総数

寄付総額

約１７億9，407万円（令和４年１２月３１日現在額）

（うち支援総額　約１３億２，４００万円）

※令和４年度支援までの総数

令和５年度支援（令和５年４月～令和６年３月活動分）

○４９６団体から申請のあった事業の中から、①計画性、②連携、③広報、④継続性の観点等から審査を行い、１４６団体（※）を採択した。（※）300万円以下を支援する事業Ａ団体と、30万円または100万円を支援する事業Ｂ団体の合計。

○支援決定総額は約２億３千万円。

■事務局

RCF　高井　知美

オイシックス･ラ･大地　大熊　拓夢

当日投影資料（抜粋）

1.役割分担

オイシックス・ラ・大地の食品メーカーのネットワークと、ココネットの配送ノウハウを活かし、社会事業をコーディネートするRCFが協働し、食品支援のためのプラットフォームを運営。

運営企業・団体	一般社団法人RCF	オイシックス・ラ・大地株式会社	ココネット株式会社（セイノーホールディングスグループ）
役割分担	✓補助金・寄付金の獲得 ✓ネットワーキング	✓事務局 ✓サポート企業連携 ✓支援先団体連携 ✓マッチング	✓物資保管・管理 ✓配送

2.これまでの活動のまとめ

1都3県を中心に支援を行い、継続して支援を行う世帯数は1.8万を超え、
累計で23万食(約5億円相当）の食品をお届けすることができました。
また、サポート企業数も55社となり、安定した食品供給の基盤が出来上がりました。

提供した支援食数

234,142 食

※金額換算すると、約5億円相当の食品をご支援いただきました。

継続支援している世帯数

18,741 世帯

※月1回以上の支援を継続している行っている世帯数。累計では、約15万世帯となります。

連携している支援団体数

60 団体

※子ども食堂やフードパントリー等を運営する団体と連携し、子供たちへの支援を行っています。

サポート企業数

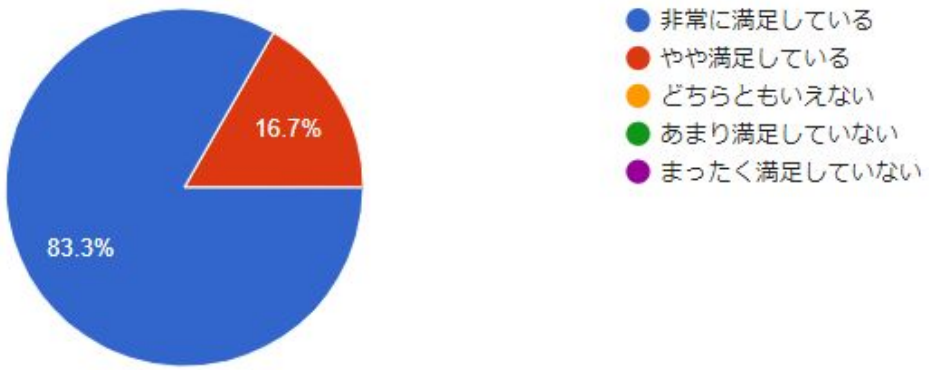
55 社

※食品メーカーや卸・流通企業など、さまざまな食料品を倉庫でお預かりし、支援先へ届けています。

■参加者の声

Q1. 『WeSupport Family視察報告会』の満足度をお教えてください

12 件の回答

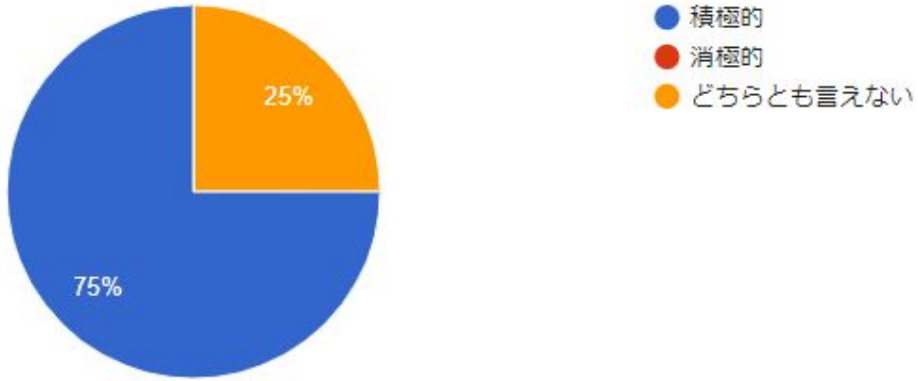


・**現場のお声が何より胸に刺さりました。**理解しているつもりでしたが、支援が必要な方たちの心の声、支援団体の過酷さを知り感じることができました。また、こども家庭庁の活動はまったく知らなかったので、勉強になりました。もっともっと**行政の活動を知る機会**があるとよいなと思いました。

・はじめて現場のリアルな声を聞き、**想像以上のことが現実で起きていることが分かりました。**登壇者の方々からも、この現状を知ってほしいという熱い思いがとても伝わりました。企業として物資を提供するだけでなく、**現状の理解を深めていくことが大切**だと感じました。寄付に関わる企業や団体が相互理解のための交流の場を増やし、**一体となり課題解決に臨んでいくことが重要**だと感じました。

Q2. 今後のWeSupport Familyとの協同意向をお教えください

12 件の回答



・弊社としてどんな商品を寄付するべきか、商品寄付以外でどんな取り組みができるのかを検討するとても良い機会になりました。**協力企業の意見交換会**などありましたら参加させて頂きたいです。

■お問い合わせ

ご意見、ご質問、ご支援に関するお問い合わせは

下記までご連絡ください。

✔ 食品寄付や広報、活動全般について

WeSupport事務局
（オイシックス・ラ・大地株式会社内）
メール：wesupport@oisixradaichi.co.jp

✔ 資金寄付について

一般社団法人RCF
メール：info@rcf.co.jp

子どもたちの栄養を考えた食支援
WeSupport Family